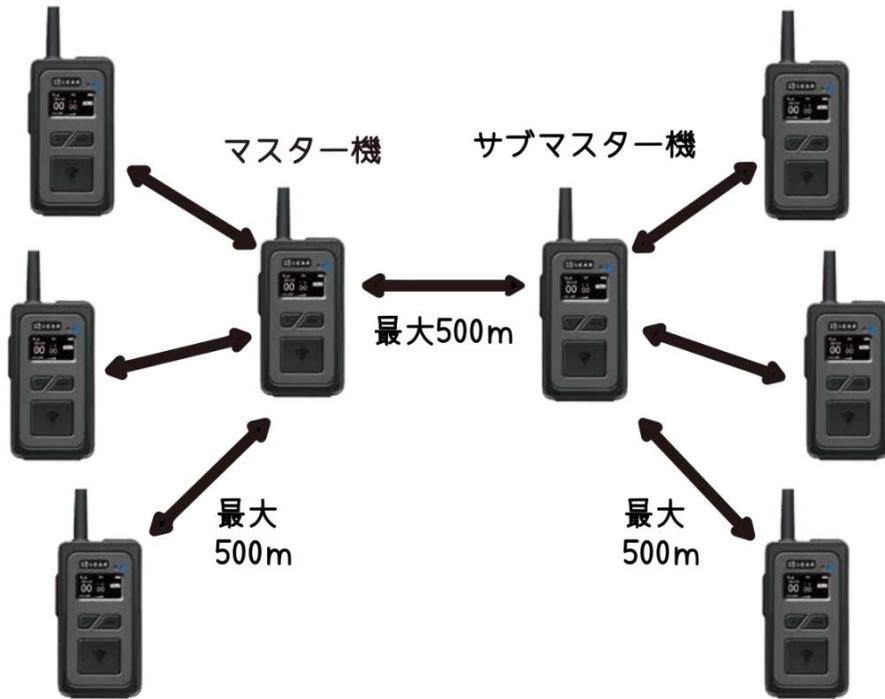


BRIDGECOM X10 ファームウェア比較

RM



中継接続設定 (初期設定)

マスターID00からの電波をサブマスターID01が中継することができ、建物や壁、フロア違いなど、通話者間に障害物があるなど、入り組んだ現場に適しています。最大10台間でのハンズフリー同時通話可能です。

※通信距離は見晴らしがよく、障害物等がない場所での実測値です。

S9



スプレッド設定

マスターID00をグループの中央付近に配置することにより、ワイドに安定的な接続が可能な設定で、ワンフロアや比較的近いエリアでの使用に適しています。RMよりマスターID00と子機ID01～ID09間の通話距離がおよそ1.5～2倍に伸びます。最大9台間でのハンズフリー同時通話可能。

※ID00～ID08は通話可能、ID09は傍聴のみとなります。

※通信距離は見晴らしがよく、障害物等がない場所での実測値です。

※注意：2021年5月末までに出荷された旧ファームウェア製品はRMの設定のみ、2021年6月1日から出荷された新ファームウェア製品にはRMとS9が設定されております。尚、新端末の初期設定はRMで出荷されておりますので、旧端末との使用には問題ありません。但し、RMとS9の2つのファームウェアには互換性はありませんので、同じグループ内でRM、S9が混在して通信できませんのでご注意ください。